

きたいと考えています。  
**Q** 公共交通について、乗合バス、デマンドタクシーの利用状況はどうか。

**A** 総務部長 基幹バスは、平成24年度、4万421人、平成25年度、4万1千626人です。乗合タクシーは、平成24年度、5万388人、平成25年度、5万2千735人です。

**Q** 基幹バスの見直しはいつごろまでにするのか。  
**A** 市長 時期はまだお示しできませんが、今期中に見直しをかけていきたいと思っています。

### 教育行政について

**Q** 学校のあり方検討委員会答申対応について、今後のスケジュール等はどうか。  
**A** 教育部長 4月から

の定例教育委員会会議とは別に、教育委員会協議会を開催し、基本方針を策定するための協議を開始しており、現在まで集中審議を3回行っています。

答申の趣旨を十分くみとり、本年度中に基本方針を策定したいと考えて

います。  
**Q** 文部科学省は公立小中学校の統廃合の基準を定めた指針を、58年ぶりに見直した。これに沿って、基本方針の策定がされると理解してよいか。

**A** 教育部長 国から、通学時間等を考慮して、基準を作り直すという方向が出るようにも聞いています。また、通学バス等につきましての基準、補助基準等の見直しもあるようです。そういったことを踏まえながら検討していきたいと考えています。

**Q** 公共交通について  
**A** 市長 現在の市内拠点間を結ぶ基幹バスと、予約制のドア・トゥ・



高橋 忠 議員

### 公共交通について

**Q** 今回の市長選の公約として、基幹バスを見直すとのことだが、具体的にいつ、どのよう

に見直す予定か。  
**A** 市長 現在の市内拠点間を結ぶ基幹バスと、予約制のドア・トゥ・

ドアに近いデマンドタクシーの2本立てで、順調に進んでいると評価を頂いています。市の背骨にあたる拠点間を結んでいる基幹バスですが、将来的にこのままでよいのか常に考えています。路線の延長の要望もあります。できる範囲で見直しをしたいと考えていますので、今年1年間検討したいと思います。

**Q** 一例だが、さんむ医療センターの眼科が閉鎖された折に、紹介された眼科は成東地区にあり、山武地区の住民はデマンドタクシーを利用できない、といった現実がある。デマンドタクシーのエリアを見直すべきと思うがどうか。

**A** 市長 庁内的には、議論は恒常的に続いています。要望に応える方法はないかと苦慮しています。

**Q** 基幹バスの路線を見直すことより、デマンドタクシーのエリア拡大を考えるべきだと思う。市長も、平成24年第3回定例会において、「生活の足、弱者の足を確保し、車がなくても最低の買い物ができる公共交通

が目的」と答弁していることから、デマンドタクシーの利便性を考えるべきと思うがどうか。  
**A** 総務部長 エリアをオールフリーにすることはなかなか困難と考えます。  
**Q** フリーにすべきとは思っていない。医療や治療、買い物等それぞれのエリアごとに地域間格差があるのが現実であり、エリアの拡大を望んでいるのがどうか。  
**A** 市長 地域間格差の縮小は認めます。努力し、タクシーの利便性向上を引き続き検討していきます。

公共交通政策は、人口減少の地域社会をどのように維持していくかにおいて、重要な施策との認識は持っています。常に庁内では検討しています。  
**議会議決後の検証について**

**Q** 平成25年第2回定例会において、人事政策上、人事専門の部署を設置してはどうかと質問したが、取組み状況はどうか。  
**A** 市長 行政は、これからは戦略的に進めていかなければ地方分権に耐えられないと思います。ありがたい提案として検討している課題です。

**Q** 旧出張所跡地の新たな施設内に、どの程度の事務機能を置くつもりなのか。  
**A** 総務部長 施設全体の管理運営業務、貸館の業務を考えますと、それに関する受付業務が考えられます。市の職員の運営方法、内容等を精査し、検討したいと思っています。

**Q** 出張所のあり方と今後の整備計画について  
**A** 現在、旧松尾出張所跡地には、新たな施設の建設計画があるが、保健福祉センター機能と出張所、総務部の出先である空港みらい対策室との今後のあり方、整合性はどうか考えているのか。関係部署の移動や移転等

公共交通政策は、人口減少の地域社会をどのように維持していくかにおいて、重要な施策との認識は持っています。常に庁内では検討しています。



小野崎 正喜 議員

### 出張所のあり方と今後の整備計画について

現在、旧松尾出張所跡地には、新たな施設の建設計画があるが、保健福祉センター機能と出張所、総務部の出先である空港みらい対策室との今後のあり方、整合性はどうか考えているのか。関係部署の移動や移転等

公共交通政策は、人口減少の地域社会をどのように維持していくかにおいて、重要な施策との認識は持っています。常に庁内では検討しています。

の計画はあるのか。  
**A** 市長 新たな施設は、松尾の地域の皆様方と時間をかけて検討し、にぎわいをどのように取り戻していくのかに目的を集中しましたので、出張所については、現在の松尾IT保健福祉センターの中にならうかと思

います。

**Q** 旧出張所跡地の新たな施設内に、どの程度の事務機能を置くつもりなのか。  
**A** 総務部長 施設全体の管理運営業務、貸館の業務を考えますと、それに関する受付業務が考えられます。市の職員の運営方法、内容等を精査し、検討したいと思っています。

**Q** 出張所のあり方と今後の整備計画について  
**A** 現在、旧松尾出張所跡地には、新たな施設の建設計画があるが、保健福祉センター機能と出張所、総務部の出先である空港みらい対策室との今後のあり方、整合性はどうか考えているのか。関係部署の移動や移転等

公共交通政策は、人口減少の地域社会をどのように維持していくかにおいて、重要な施策との認識は持っています。常に庁内では検討しています。



新たな施設が建築される旧松尾出張所跡地